

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成30年9月21日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670600172
法人名	有限会社ふれあい
事業所名	グループホームポインタ
所在地	鹿児島県阿久根市赤瀬川4295 (電話) 0996-73-4348
自己評価作成日	平成30年8月10日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	平成30年9月12日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

定期的に家族会を行いご家族との信頼関係を築き、ご家族と共に入所者を支える環境作りをしている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームは海や山の自然環境に恵まれた阿久根市の高台の住宅地に位置している。

地域とは、開設当初より「いきいきサロン」への参加や近隣の保育園児やボランティアがホームの行事に参加、利用者家族が地域に住んでいる事や運営推進会議に出席されたり、他にも避難訓練に参加し協力体制も出来ているなど、地域とつながり地域の一員として日常的に交流している。

菜園で収穫した季節の野菜や果物を提供する事で利用者は、季節感のある食事を楽しんでいる。

介護度の重度化や身体機能の低下により、外出を希望される利用者が少なくなってきたが、家族や地域の協力支援をいただきながら外出ができるよう支援し、一日一回の笑顔が見られるようにと、管理者や職員は利用者を思いながら実践に繋げているホームである。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	申し送り時に理念を読みあげ勤務に入る前に理念に沿ったケアが出来る様に心がけている。	理念は玄関の掲示や日報に載せている。会議や申し送り時に唱和している。職員は「あなたらしさ」「笑顔」を意識しながら、利用者が「一日一回笑顔」になれる様にケアの実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の老人会に参加したり、近隣の保育園児が行事に参加し交流を図っている。	開設当初より地区の「いきいきサロン」へ参加している。ホームの行事には保育園児やボランティアの参加がある。また認知症サポーターとして地域へ貢献している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	ボランティアを受け入れ認知症の方への理解を深めてもらっている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議時にホームの災害時や緊急時の勉強会など行い地域、行政からの意見を聞きサービスの向上に活かしている。	定例化された会議は、2ヶ月毎に開催している。状況報告・事故報告他の報告、また勉強会を行うなどして、意見を交換し情報を共有している。消防訓練と重ねた事で家族の参加や、消防署の指導を得、改善するなど意見をサービスの向上に繋げている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議や相談等で助言を得たり情報交換を行っている。	市の担当者とは運営推進会議への参加や、電話や窓口へ出向き必要な助言をもらったり、研修案内を受け参加している。介護保険運営委員会へ参加するなど日常的に連携を図りながら協力関係を築くよう取り組んでいる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	内部研修で身体拘束について学び取り組んでいる。日中玄関、テラスのカギは施錠せず自由に出入りが出来る様にしている。	身体拘束マニュアルも指針も有り、年1回は勉強会を行い事例や課題から、職員全員で理解や意識度を高めている。昼間は玄関は施錠せず、帰宅願望の方へは職員の見守り連携で安全な暮らしを支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	内部研修で虐待防止法等学び取り組んでいる。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	内部研修で学び必要時は社協に依頼し研修を行っている。1名青年後見制度を利用している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>運営者が入所時に説明等を行い理解に努めている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時、家族会等で意見を聞いている。</p>	<p>利用者からは日々の関わりの中で意見や要望を聞き思いを把握している。家族からは面会時や行事の参加時に聞いたり、年3回の家族会には家族の参加も多く意見も出される。出された意見要望は職員と話し合い運営に反映させている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>業務改善会議をしている。</p>	<p>ミーティングや職員会議時に意見や提案を聞いている。年1回は業務改善会議を開催し、シフトの話合いを行ったりした。管理者は意見や提案が出やすい雰囲気作りや資格取得の支援もしている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>勤務希望を取り家庭の都合を考慮し、就業しやすい環境を整えている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>介護未経験のスタッフに介護初任者研修を受けてもらっている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同業者との交流の機会はない。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入所前に面談や可能な時はホームに来てもらい見学や説明を行い思いを聞ける様に努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入所前に面談を行い思いを聞くと共に信頼関係を築ける様に努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>入所前のケアマネや関係者と情報交換を行っている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>個々の能力に応じ出来る事をお願いしお互い助け合いながら生活出来る様に支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>本人の思いに添える様にご家族にも協力をお願いし共に支え合う環境作りをしている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>親戚や兄弟の方等に面会をお願いしたり、ご家族と自宅へ帰宅し馴染みの方と交流を図っている。</p>	<p>地元からの利用者が多く友人・知人の来訪がある。家族の協力で美容室や墓参りに行かれる方もいる。手紙の代読や電話の取次ぎも行っている。馴染みの人や場所との関係が途切れないよう支援している。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>食堂や共有室での座る位置を考慮している。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>サービス終了後もご家族の相談があれば関わるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の思いを汲み取りながら申し送りなどで共有している。ご家族の面会時に話を聞くようにしている。	日々の生活の中から、利用者の表情やしぐさなどから思いや意向の把握に努めている。職員は笑顔で傾聴に努め、思いや希望を把握する様になっている。意思疎通が困難な場合には本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時のアセスメントにおいて本人、ご家族、担当ケアマネから情報収集を行っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	勤務者で情報交換を行いながら申し送り、ケアプランのカンファレンス時に意見を出し合っている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人、ご家族、主治医からの意見を基にスタッフで評価を行い担当者がケア計画を作成している。	関係者からの意見を基に職員で話し合い、担当者が「個別援助計画書」を作成している。定期的にカンファレンス・モニタリングを見直しは6ヶ月毎に行い、何か変化があればその都度ケアプランを見直し、現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>毎日日勤・夜勤帯で細かく記入し、申し送りを行う中でケアの実践やプランに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>主治医・他機関に相談しながら行っている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>運営推進会議で区長、民生委員の方に提案助言を頂いている。防災訓練時には消防署の指導を受け近隣住民にも参加してもらっている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>希望があれば入所前のかかりつけ医に職員が同行し受診している。</p>	<p>入所前のかかりつけ医となっているが、利用者や家族の希望で協力医療機関へ変更し定期受診を受けている。他科受診は家族の協力支援となっている。医療機関とは24時間いつでも受診対応が出来るよう、安心安全に適切な医療を受けられるよう支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>入所者の状態変化をその都度看護師に報告し処置やかかりつけ医への報告、受診の支援をしている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>かかりつけ医、医療連携室との関係作りをしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入所時、プランの説明時、状態変化時にご家族から意向を確認している。</p>	<p>入所時にホームの指針を説明し同意をもらっている。「重度化したときの意向確認書」をもらっている。主治医・家族・ホームで方向性を共有出来るよう取り組んでいる。職員との研修が少ないので、今後は開催を予定している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>施設内研修で消防署に依頼し応急手当、心肺蘇生の講習を受けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防署の指導を受け地域の方に参加してもらい避難訓練を行っている</p>	<p>年2回消防署立ち合いで地域住民も一緒に避難訓練を行っている。非常サイレンや非常ベルが設置されている、また自動通報装置は区長へも連絡が行き、地域住民との協力体制も築かれている。備蓄は完備され、消費期限なども再確認している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	日々職員で話し合い注意している。	年1回職員で研修をしている。日常の支援の中で羞恥心や自尊心を傷つけないように、声かけには配慮するなど対応を周知徹底し、誇りやプライバシーを損ねないケアに努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常会話の中から思いを聞ける様に働きかけ実現できるように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	外出希望など意見を聞き可能な限り支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	2か月に1回訪問美容室来てもらい散髪をしてもらっている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食べたい物を聞きメニューに取り入れている。	献立は利用者とその日に食べたい物を聞いて、栄養バランスや旬の野菜を取り入れる事で担当者が作っている。近隣からの刺身の差し入れまた郷土料理を提供すると利用者は喜ばれる。利用者には力量に応じ、食材の下ごしらえや下膳の手伝いなど職員と一緒に、食事を楽しむ事ができる支援に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、水分量を記録表に記入している。必要に応じミキサー食、刻み食、とろみ食を提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアの声掛けを行い必要な方の介助を行っている。夜間義歯は義歯ケースで洗浄している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を活用し出来るだけ失敗のないようにトイレへ促している。トイレ動作では出来る事をしてもらえるように見守りを行っている。	排泄チェック表の活用や利用者の表情やしぐさから排泄パターンを把握し、早目のトイレ誘導に努めている。自尊心や羞恥心に配慮し利用者に応じた声かけ誘導を実践している。ポータブルトイレの使用はせず、職員の見守り誘導で、トイレでの排泄や、排泄の自立に向けた支援をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表で排便日を記入し食事内容、水分量、下剤の調整を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日は決めているが体調や気分など考慮し時間をずらしている。	週3回が基本であるが、利用者の希望や身体状況に応じて柔軟な対応をしている。入浴出来ない時には清拭や足浴に変更している。入浴を楽しむ事が出来るよう個々に応じた支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	生活習慣や精神状態に応じ安心して休んでもらえるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方録で職員が確認出来るようにしている。必要時は主治医に相談、報告を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	出来る事は少しでもお願いし助け合う事で張り合いのある生活が送れるように支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外出を希望される方はほとんどいらっしゃらないが、希望があれば職員と一緒に出掛けている。必要時はご家族にも協力をもらっている。	外出希望の利用者が減少してきているが、希望があれば散歩や買い物また家族の協力支援で、自宅や外出外食される方もいる。花見・初詣・いきいきサロンなど外出の機会を作り、家族や地域と協力しながら外出出来るよう工夫をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	1名お金を持たれているが買い物等の希望はない。		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	希望があれば電話をかけている。		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	掃除を徹底し居心地の良い生活が送れるように支援している。	天井が高い事で、採光も取れ明るい。広いリビングには大きなソファが置いてあり、利用者はテレビを見ながらくつろぐ等、落ち着いた空間となっている。壁には華美な飾り付けはせずに、利用者との手作り作品が掲示されている。台所からの調理の匂いで五感を刺激する等生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせる工夫をしている。	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	共有室では気の合う方同士で話をしたりゆっくりと自室で過ごされる方もいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入所者・ご家族の意見を聞き使い慣れた家具・写真を置いている。</p>	<p>ホームの設置品以外は入所以前に使い慣れた馴染みの家具を持ち込まれている。壁には家族写真・手作り作品を飾られ、戸口は障子で作られ自宅に居るように居心地よく過ごせる工夫をしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>玄関からバリアフリーになっておりテラスへ出て洗濯物を取り込む事も出来る。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない